

# 母と子の命をつなぐプラセンタで 日高の命も次の世代につなげたい

高村牧場・高村洋子さん

私は日高（様似町）という土地に生まれ、育ち、嫁ぎ、生命にかかわる仕事をしてきました。日高地区にあるサラブレッド牧場の多くは、家族だけで経営しています。四十五年間で約五〇〇頭のサラブレッドを生産した高村牧場も現在は夫と二人で経営し、八頭の繁殖馬とその仔馬たちの命を育んでいます。

高村牧場の敷地は約二五畝あります。札幌ドーム五個分もある広い牧場を、夫と二人で管理しています。サラブレッドの生



高村牧場は菊花賞馬インターグシケン(写真)やガルボなどの重賞勝馬を送り出している

産現場に休みはありません。

牧場で生まれた仔馬は翌年になると競り市に出します。そのため、しつけは人間とまったく同じで教育そのもの。優しさ・かわいさだけでは強いアスリートは育たないのです。これから出会うオーナーさんに自信を持って提供できるように、餌（食事）や健康状態はもちろん、精神面（メンタル）も鍛えながら、仔馬を育成しています。二十四歳で高村牧場に嫁いだから四十年、私はサラブレッドの生産者としてプロフェッショナルであることを心がけてまいりました。常に欠かせない作業にサラブレッドへのブラッシングがあります。ブラッシングは、清潔な皮膚を保つことや細胞活性のみならず、ストレスの解消や繊細な動物であるサラブレッドとの大切なコミュニケーションタイムでもあります。体調の変化、

【たかむら・ようこ】豊富な生産者としての経験と実績のもと、一貫してサラブレッドの生産にたずさわる日高の「馬女」地域産業振興をテーマに幅広い活動を展開。

特に小さなケガを見逃さないための重要な作業です。

大規模な牧場はサラブレッドの餌に便利なペレットを使うことが多いのですが、高村牧場は違います。吟味した燕麦、トウモロコシ、大豆などを、その日の馬の体調に合わせて配合し、愛情も与えるようにしています。日高の多くの牧場は、私と同じように一頭一頭でいねいに、細心の注意を払ってサラブレッ



下を育てています。それでも日高では牧場の閉鎖が続いています。生産コストがかかるうえに生産者の高齢化が主な要因です。先人たちから受け継いだ数々の歴史と伝統ある日高のサラブレッド産業を次世代につなげたい——考え抜いて出した結論が「女性の視点で日高に笑顔と彩りをもたらすこと」でした。サラブレッドの生産にかかわる仕事の半分以上は、私たち女

性が担っています。そこで私は、「日陰の存在でありつづけた女性の発想やアイデアが、いまこそ必要ではないか。大切に、ていねいに育てられている日高のサラブレッドの胎盤ならば、高品質なプラセンタの美容液ができるはず。世の中の多くの女性に実感して喜んでいただきたいながら、日高の活性化につなげられるのではないか。サラブレッドの生産現場に笑顔と彩りが生まれれば、牧場経営に対する若い世代の見方が変わるかもしれない」と思ったのです。



ビバレディをふだん使っている化粧水に  
1~2滴混ぜるだけで  
特別な美容液になります!

1,000本  
限定

北海道日高産サラブレッド  
プラセンタエキス原液美容液  
『ビバレディ(VIVA LADY・美馬女)』  
18,000円(税込)

容量	30mL
成分	水
	エタノール
	ベンチレングリコール
	プラセンタエキス

日高からの  
贈り物をぜひ  
体感してください



気になる部分は  
直接、ビバレディ  
をピンポイントで  
使いましょう

ビバレディのご購入は▶ターフィー通販クラブ <http://shop.prc.jp/>

記事についてのお問い合わせは▶『健康365』編集部(☎03-5297-2310)までお願いします。

